

三二四〇番

おほきみ 命みこと恐かしこみ 見みれど飽あかぬ 奈良山ならやま越こえて

まきつ 真木積まきつむ 泉いづみの川かはの 速はやき瀬せを 棹ささし渡わたり

ちはやぶる 宇治うぢの渡わたりの 激たぎつ瀬せを 見みつつ渡わたり

りて 近江道あふみぢの 逢坂山あふさかやまに 手た向むけして 我わが越こえ

ゆ 行ゆけば 楽浪ささなみの 志賀しがの唐崎からさき 幸さきくあらば また

かへり見みむ 道みちの隈くま 八十隈やそくまごとに 嘆なげきつつ

わが過すぎ行ゆけば いや遠とほに 里さと離さかり来きぬ いや高たか

に 山やまも越こえ来きぬ 剣つるぎ大た刀ち 鞘さやゆ抜ぬき出いでて

いかにやま 伊香山いかにやま いかにか我あがせむ 行ゆくへ知しらずて

反歌はんか

三二四一番

あめつち 天地あめつちを 嘆なげき乞こひ禱のみ 幸さきくあらば またかへり

み 見みむ 志賀しがの唐崎からさき